

まちの話題



結婚しようよ

昨年4月に帯広信用金庫と町が独身男女の結婚を支援する「音更町・おひんキューピット連携事業」を開始してから、1年が経ちました。梶谷音更支店長は「町内では60数人の登録があり、成婚に向けて交際しているカップルも数組います。今後は農村地区青年部や地元商工業の皆さんへのPRを進め、登録人数を増やしていきたい」とこの1年を振り返りつつ、熱く意気込みを語っていました。



温泉街を彩るフラッグ

十勝川温泉旅館組合は、開湯120年のイベントの1つとして、温泉街の「てぬぐい通り」にある街灯にフラッグを飾るため、町内の小中学生と、高校・短大の学生を対象に、デザインの公募を行いました。作品は合計142点集まり、最優秀賞の作品が9月中旬まで街灯に飾られます。山岡専務理事は、「温泉街を訪れた人たちに、少しでもゆっくりして欲しいと願い企画しました」とPRしていました。



4 / 14

自転車と歩行のルールを学びました



駒場小学校で全学年を対象に交通安全青空教室が行われました。初めに町交通安全指導員から自転車走行と歩行の際の基本ルールを学び、続いて駒場市街を自転車組と歩行者組に分かれて通行しました。児童会長の北澤蒼空君は「ヘルメットの着用が大切だということが勉強になった」と話してくれました。

4 / 18

パンジーを見ながら春を楽しみたい



パンジーの寄せ植え講座が、園芸アドバイザー平田松征さんを講師に迎えて開かれ、参加した25人は持参した鉢に3色のパンジーを植えながら春のひとときを過ごしました。4歳の娘さんと参加した江縁宏亮さん(木野新町)は「娘と外で楽しみたいと思って参加しました」と笑顔で話してくれました。

4 / 28

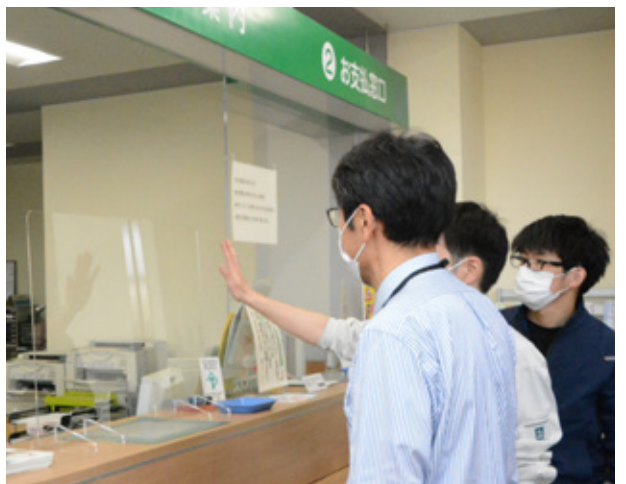
歯を食いしばってがんばろう



町商工会青年部は、新型コロナウイルスの影響で特に打撃を受けている町内の飲食業と宿泊業に携わる青年部員7人に、一律5万円の被災見舞金を支給しました。玉川部長は「3月のお湯こうこうや4月の夜桜ライトアップが中止となった。今は歯を食いしばってがんばり、いつか皆さんと楽しい活動をしたい」との願いを込めて手渡しました。

4 / 21

木野支所に「感染予防クリアパーテーション」を設置



新型コロナウイルス感染症の予防対策として、役場庁舎の窓口に設置した感染予防シートに続き、木野支所には、アクリル製のクリアパーテーションが設置されました。町総務課は「今後も台数を増やして感染リスクを低減させ、来庁者と職員の安全を守っていききたい」と期待を込めていました。